

# 令和5年度事業報告書

自 令和 5年4月 1日

至 令和 6年3月31日

公益財団法人 海原会



## 令和 5 年度事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

海原会は、その前身である「予科練の碑保存顕彰会」が昭和 42 年 5 月に発足して以来約半世紀にわたり予科練戦没者の慰霊と顕彰の為の事業を継続して参りました。この間、昭和 53 年にはその活動をより組織的に行うために、高松宮殿下を名誉顧問にお迎えして財団法人海原会を設立し現在に至っております。

しかしながら、会員数も 400 名を割り込み、会の運営が徐々に難しくなっているのは遺憾ながら否めない現実であります。令和 5 年度はこのような現状に鑑み、会の目的であります予科練戦没者の慰霊顕彰活動に従事するかたわら、昨年度に引き続き会員の募集にも力を入れて参りましたが、年度の入会者は 24 名に留まり退会者数を補うまでにはその成果が得られておりません。次年度以降、会勢の増大が喫緊の課題となっております。

若くして自らの命を投げ打って国難に殉じた予科練同窓英霊の思いを継承するという当会の目的を達成するために、前述のように厳しい環境下ではありますが、令和 5 年度の事業も全員が一丸となって精進してまいりました。

以下その概要を御報告いたします。

### I 慰霊顕彰事業

慰霊顕彰事業の最も重視しているものは、陸上自衛隊武器学校の敷地内に造営されている「雄翔園」で開催する「予科練戦没者慰霊祭」であります。令和 5 年度は第 56 回目の慰霊祭を開催いたしました。

また、「予科練戦没者慰霊祭」以外に全国各地で行われた慰霊祭に、可能な限り役員を参加させるとともに、必要により玉串を奉納し予科練戦没者の御霊の安らかならんことをお祈り申し上げます。

その状況は以下に記述するとおりであります。

#### 1 慰霊事業

##### (1) 第 56 回予科練戦没者慰霊祭

第 56 回予科練戦没者慰霊祭は例年通りの規模と内容で開催しました。

例年になく早めの梅雨入り直前に天候にも恵まれ、参加者の心のこもった慰

霊祭を挙行することができました。

ア 予科練戦没者を偲ぶ集い

- (ア) 日 時 : 令和5年5月27日(土) 午後6時  
(イ) 場 所 : ホテルマロウド筑波  
(ウ) 参加者 : 武器学校長他自衛隊関係者 6名  
遺族及び予科練同窓生 24名  
一般招待者 27名  
海原会役員等 7名

イ 第56回予科練戦没者慰霊式典

- (ア) 日 時 : 令和4年5月28日(日) 午前11時から  
(イ) 場 所 : 陸上自衛隊武器学校内「雄翔園」  
(ウ) 参加者 : 武器学校長他自衛隊関係者 20名  
遺族及び予科練同窓生 94名  
一般招待者 107名  
海原会役員等 19名

(エ) 内 容

a 第56回予科練戦没者慰霊式典

式典では、安井理事長が参加者を代表して祭文を奉読した後施設学校音楽隊が奏でる「國の鎮め」に併せて黙禱を実施しました。陸上自衛隊武器学校長、海上自衛隊教育航空集団司令官、阿見町町長にご祝辞をいただいた後、海原会行方参与により遺稿朗読が行われました。

b 式典参加者

- (a) 海原会役員等(19名)が参加しました。  
(b) ご遺族代表として、甲飛10期 故 神社 明様の甥 神社正幸様が出席し、挨拶をいただきました。  
(c) 陸上自衛隊武器学校長他主要幹部自衛官20名の出席をいただきました。  
(d) 阿見町町長、阿見町町議会議長、阿見町教育長、予科練平和記念館長、笠間市教育部長、土浦市副市長等行政機関の代表者の出席をいただきました。  
(e) ご遺族及び予科練同窓生を始めとする会員等に対して玉串を募集し、協賛いただいた96名の芳名録を慰霊碑に奉奠しました。芳名録は第57回慰霊祭までの間雄翔館に展示することとしました。

c 協力団体等

陸上自衛隊武器学校 : 慰霊祭会場の設置及び椅子等備品の提供  
案内・警備要員等の派遣

武器学校OB会 : 勤務員の派遣

陸上自衛隊武器教導隊 : 慰霊祭会場の環境等整備

陸上自衛隊施設学校 : 音楽隊の派遣

海上自衛隊下総教育航空群 : 儀仗隊の派遣

甲飛喇叭隊 : 勤務員の派遣

予科練平和記念館 : (1) 同館駐車場の利用  
(2) 予科練平和記念館の無料開放

阿見町交通安全母の会 : 勤務員の派遣

更生保護女性の会 : 勤務員の派遣

霞ヶ浦高等学校 : 勤務員の派遣

d 慰霊祭動画の編集とDVDの贈呈

慰霊祭の様子を撮影した動画を編集して、玉串料を奉納していただいた協力者全員に贈呈しました。

(2) 全国各地で挙行された慰霊祭等への参加

全国各地で開催された慰霊行事に、役員等を派遣するとともに供花料、玉串料を奉呈しました。

令和5年	4月	21日	靖国神社春季例大祭	於：靖国神社 規模を縮小し開催された（参拝ご遠慮）
	5月	27日	筑波海軍航空隊慰霊祭	於：筑波海軍航空隊記念館 理事長代理で、酒井副理事長が出席した。
	6月	24日	静岡空襲日米合同慰霊祭	於：静岡市賤機山 菅野名誉顧問が主催 静岡市民やアメリカ軍の関係者約100名が参列
	7月	8日	大東亜戦争全戦没者慰霊祭	於：靖国神社 酒井副理事長が出席を予定していたが、死亡につき参列を見送った。
	9月	3日	第10回戦没学徒慰霊祭	於：広島県護国神社 節目の慰霊祭のため、理事長代理で平野理事が出席した。

- 9月 23日 特攻平和観音年次法要  
於：世田谷観音寺内特攻観音堂  
星指副理事長と平野理事が出席した。
- 10月 21日 海上自衛隊下総航空基地開設記念行事  
於：海上自衛隊下総航空基地  
原監事が理事長代理として出席した。
- 10月 21日 串良海軍航空隊追悼式  
於：串良平和アリーナ  
平野理事が理事長代理として出席した。
- 11月 12日 陸上自衛隊武器学校開設記念行事  
於：陸上自衛隊土浦駐屯地  
安井理事長が出席した。
- 令和6年 3月 23日 第45回特攻隊全戦没者慰霊祭  
於：靖国神社  
星指副理事長が理事長代理として出席した。

### (3) 慰霊環境の整備

#### ア 雄翔園庭園池の水質浄化

水質浄化装置を庭園池内に設置して、水質の改善に努めた。  
設置した水質浄化装置については設置後武器学校に寄付する予定

#### イ 雄翔園整備作業の実施

慰霊祭開催のための環境整備のため、4月17日～26日の間武器学校が  
主体となって雄翔園内の集中整備を行った。  
本年度は、延べ計5回の雄翔園池の整備を実施しました。

### (4) 雄翔園及び雄翔館見学者実績

令和5年度は、23,886名の方が雄翔園及び雄翔館を見学しました。  
開館中に見学者から頂戴した見学所見は、機関誌「豫科練」に掲載しました。  
掲載させていただいた見学者には当該機関誌を贈呈させていただきました。

## 2 顕彰事業

### (1) 遺書・遺品・実戦記録等の整備事業

ア 海原会ではご遺族に残された遺書・遺品・実戦記録などを収集して、後世  
に伝えるための事業を着実に推進しています。令和5年度は、ご遺族等から  
提供いただいた8点の遺品等を整理保管いたしました。

## イ 海原会所蔵品等の整備

### (ア) 雄翔館内作業

- ①館内映像モニター用 DVD の作成及び展示
- ②展示室内の看板作成（デザインを含む。）及び設置
- ③館内配置図の作成及び設置
- ④会員募集ポスター等の作成及び設置
- ⑤湿度計の設置
- ⑥館内現況調査：5回（305品目、947点）
- ⑦雄翔館内倉庫の清掃

### (イ) 保管庫内の整備

- ①遺品台帳等の整備（令和6年1月1日現在）
- ②不要な段ボール及び本の廃棄
- ③保管庫内の整理
- ④防虫剤等の入れ替え
- ⑤遺品等の現況調査：3回（1,273品目、1,644点）
- ⑥海原会管理図書の現況調査：2回（R6.1.6：2名）（R6.1.22：2名）

## (2) 小さな展示室

常設展示の他に、年7回の展示会（小さな展示室）を行った。

- ア 少年倶楽部等雑誌展示（4月）
- イ 常南電気鉄道の乗車券等展示（5月）
- ウ 海軍士官用カレー皿等展示（6月）
- エ 軍票（軍用手票の略称）の展示（7月～8月）
- オ 初代山本五十六元帥像の左手欠片及び写真展示（9月下旬～11月）
- カ 常南電気鉄道の乗車券等展示（11月下旬～1月）
- キ 闘球「予科練ラグビー」（1月中旬～3月）

## (3) 遺族支援調査

- ア ご遺族も年々亡くなられて、親の代から兄弟・姉妹へと移り、中には孫の代になり、世情も戦争犠牲者への関心が薄れだんだん風化されつつある現状に鑑み、音信不通のご遺族の所在を調査して会報を送付し、また本会主催の慰霊祭は勿論のこと、各地各期が催す慰霊祭に積極的に参加し、ご遺族の啓蒙と当会への入会の促進を図ってきました。

#### イ 支援調査の実績

(ア) 令和5年4月9日

甲飛10期生 神社明 命 甥 神社正幸様を長野県大町市に訪問し、第56回予科練戦没者慰霊祭のご遺族代表を依頼した。

(イ) 令和5年4月9日

乙飛6期 山岸昌司 命 姪 平林峰子様を長野県大町市に訪問して、お墓参りを行った。

(ウ) 令和5年4月9日

乙飛7期西澤廣義 命 姪 西澤清 様を小川村に訪問し、お墓参りを行った。

(エ) 令和5年4月10日

甲飛13期三枝直 命 姪 三枝かずみ 様を山梨県笛吹市に訪問し、お墓参りを行うとともにNHKの取材協力を実施した。

ウ 本年度は特に、祖父や父親が元生存予科練であったという方からの連絡や入会の問い合わせが増加しました。

(ア) 4月24日、予科練同窓生のご遺族沖よし子様から保管遺品の寄贈についてご依頼があった。

(イ) 8月2日、福岡県在住の田中英子様から、高校の同窓生であった甲飛4期生の外山維良様のご遺族関連の情報提供依頼があった。

(ウ) 丙飛11期西村誠様の甥西村俊帥（千葉県八千代市在住）が事務局を訪問情報交換を行った。

#### (4) 海原会会員の入退会状況

本年度は、41名の方が退会され新たに24名の方が入会されました。

年度末現在における会員数は、362名で、その内訳は以下のとおりです。

ア 一般会員	343名（甲飛、乙飛、特乙飛、丙飛を含む）
イ 賛助会員	8名
ウ 学生会員	4名
エ サポーター会員	7名

#### (5) 陸上自衛隊との連携

ア 雄翔園の整備

本年度は、武器学校の協力を得て雄翔園の池浄化装置の設置を行いました。

イ 武器学校開設記念行事

(ア) 令和5年11月12日(日)に陸上自衛隊土浦駐屯地開設71周年記念行事が開催され、海原会から安井理事長が参加しました。

(イ) 雄翔館の案内

開設記念行事で見学に来られる一般入場者を対象に、海原会で雄翔館内の案内を実施しました。この際、阿見町観光ガイド及び霞ヶ浦高等学校ボランティア同好会の生徒3名の協力をいただきました。

ウ 武器学校観桜会

4月1日に開催された武器学校観桜会において、武器学校の要請に応じて、海原会会員3名を派遣して雄翔館での案内を実施しました。

エ 施設学校音楽隊定期演奏会

施設学校音楽隊定期演奏会が令和5年5月13日(土)に開催されたが、第56回予科練戦没者慰霊祭実行委員会の開催日であったために、出席できませんでした。

(6) 海上自衛隊との連携

予科練教育制度を継承している海上自衛隊航空学生の皆さんに、戦没予科練生の遺訓を伝承するために以下のような活動を行いました。

ア 航空学生の入隊式

第75期航空学生の入隊式は、出席者を限定して開催されたために、海原会からの参加はありませんでした。

イ 海上自衛隊航空学生の雄翔館研修支援

教育時間短縮のために中止となりました。

ウ 下総航空基地開設記念行事

令和5年10月21日(土)開催された下総航空基地開設64周年記念行事に、原雅英監事が理事長代理として出席しました。

エ 下総航空基地観桜会

令和5年3月24日(金)に、下総航空基地観桜会が開催され平野理事及び行方参与が出席しました。

オ 4月12日に下総教育航空群幕僚長大畑1佐が、慰霊祭会場事前視察のために来館されたので、雄翔館及び予科練平和記念館を案内した。

(7) 行政及び他団体等との連携

ア 予科練平和記念館運営協議会

9月25日(月)・3月18日(月)に開催され、委員として平野理事が出席しました。

#### イ ご遺族等調査協力

予科練平和記念館からの要請により、ご遺族など3名の方の戦没予科練生及び生存同窓生に関する調査に協力しました。

#### ウ 3者連絡会

阿見町所在の慰霊団体である阿見町予科練平和記念館、阿見町観光ガイド、海原会の3団体が、地域における慰霊活動等の拡大及び活性化を図る目的で意見交換を行うための連絡会であり、年度内7回の連絡会を開催しました。本年度行った3者連携での活動は以下のとおりです。

4月19日、6月7日、9月20日、11月28日、2月21日

(ア) 3者で行える協力について、具体的な例を検討した。本年度は、11月4日に開催された「阿見町レンコンマルシェ」で、阿見町観光ガイドが主催した雄翔館の案内を支援しました。

(イ) 11月12日(日)に開催された武器学校開設記念行事において、武器学校からの支援要請を受けて海原会が主催した雄翔館の案内に阿見町観光ガイドの支援をいただきました。

## II 定期刊行物発行事業

機関誌月刊「予科練」は、発刊以来481号を数えております。

その編集にあたっては、全国各会の活動状況の紹介や、予科練同窓の戦争体験談等ご遺族の皆様にご喜ばれるような内容の充実に力を入れてきました。

引き続き投稿を依頼するなど内容の充実に図るとともに、ご投稿をいただいた方に記事が掲載された機関誌を贈呈することにより会員以外の購読者の発掘につなげる施策を継続したいと思います。

### 1 編集会議

オンライン(ZOOMテレビ会議利用)または編集資料を郵送して年6回の編集会議を実施しました。

### 2 機関誌の発行

計画どおり、第476号から第481号まで6回の機関紙の発行を行いました。

### 3 雄翔館見学感想文投稿者に対する機関誌の無料提供

雄翔館訪問時に感想文を投稿していただいた方の中から、住所及び氏名を記載された方36名に、本人の感想文が掲載された機関誌を無料で送付しました。

### Ⅲ 青少年育成支援事業

今年度は、阿見町子ども会育成連合会を支援しました。この際、令和5年11月5日に阿見町中央公民館で開催された「第43回ジュニアバドミントン大会」に、星指副理事長と平野事務局長が出席し助成金を交付するとともに、大会関係者との意見交換を行いました。

### Ⅳ 庶務事項

#### 1 理事会開催

隔月1回の定例理事会を実施しました。特に審議事項がなかった8月理事会を除き、年5回の理事会の全てを対面での通常理事会としました。その出席者の状況は及び開催日時は以下のとおりです。

##### (1) 出席状況

理事会月	4月	6月	10月	12月	2月
出席率	89%	89%	75%	100%	54%

##### (2) 開催状況

令和5年4月22日、6月17日、10月28日、12月16日、令和6年2月17日

#### 2 令和5年度評議員会

令和5年度評議員会を以下の要領で開催し、安井代表理事が提案した以下の議題について審議を行いました。

提案のとおり全評議員の賛成を得て承認されました。

##### (1) 開催時期

令和5年6月17日

##### (2) 開催場所

ホテルマロウド筑波「鶴の間」  
(茨城県土浦市城北町2-24)

##### (3) 審議事項

- ア 令和4年度事業報告（令和4年度収支決算）
- イ 監査結果報告
- ウ 令和5年度事業計画（令和5年度収支予算）
- エ 評議員の選任について
- オ 理事及び監事の選任について
- カ 令和5年度海原会定款の改訂について

### 3 会計監査

令和5年4月22日(土) 海原会会議室において、令和5年度の評議員会の開催に先立ち、令和4年度の経費執行状況について監事1名による監査を実施し、令和4年度海原会の事業運営及び経費執行に関して問題のないことを確認しました。

参加者

経費執行理事	(副理事長)	酒井省三 氏
	(副理事長)	安井 剛 氏
事務局長	(専務理事)	平野陽一郎氏
監査	(監事)	豊岡 昭 氏

### 4 令和5年度臨時評議員会

代表理事の要請に基づき次のとおり令和5年度臨時評議員会をみなし決議で開催しました。

#### (1) 審議実施時期

令和6年3月1日

#### (2) 審議事項

第1号議案 理事を選任する件

第2号議案 基本財産の一部を除外する件

令和5年度に公益財団法人海原会が実施した事業を以上のとおり報告する。

公益財団法人 海原会

理事長 宮本 忠明